



メディキッズ山口

病児保育所だより



梅雨が明けると暑い日が続くので熱中症に気をつけましょう。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯には外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

虫刺され

油断大敵!

蚊に刺されると、かゆくてつらいだけでなく、かきこわして傷口が化膿したり、「とびひ」になったりすることも。蚊に刺されたら、早めのケアが大切です。



石けんで洗いましょう

刺されたところを石けんで洗って、かゆみのもとを洗い流します。水で冷えてかゆみも軽くなります。

かゆみを和らげましょう

かゆがるときは、ぬらしたタオルや保冷剤で冷やしたり、かゆみ止めを塗ったりしてケアします。

かゆみやはれがひどいときは皮膚科へ

刺されたところが強くはれたり、皮膚がじゅくじゅくしたりするときは、皮膚科を受診しましょう。



夏かぜ

高熱に注意!

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があったり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

6月の利用 (主な疾患)

風邪
中耳炎
胃腸炎
RSウイルス



お知らせ

風邪でのご利用時に実施している検査について、インフルエンザの流行が落ち着いたため、38.0度以上の発熱の場合のコロナ検査のみとなりました。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



とびひが増える季節です

とびひ（伝染性膿痂疹）は夏に多く見られます。虫に刺された跡を汚れた手でかくなると細菌（ブドウ球菌など）が感染し、そこで繁殖します。初期に水ぼうがができますが、すぐに破れてじゅくじゅくした状態になります。その部分を触った手で別の場所を触ると、そこにもとびひが広がります。



主な症状

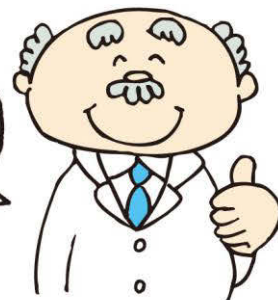
- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

家庭での手当て

- じゅくじゅくしている部分はガーゼで覆ってください。
- おふろはシャワー程度にして、タオルも個別にしましょう。タオルを共有して感染することがあるからです。
- 完全に乾燥するまで感染力がありますから、乾燥するまではガーゼで覆い、プールは禁止になります。



感染力が強いので、医療機関を受診し、薬をもらってください



病児室に関するお問い合わせ

山口市吉敷中東1-1-2

T 083 (941) 5311
F 083 (902) 6129



病児保育のご予約は

「あずかるこちゃん」

からお願いします！



あずかるこちゃん
公式ライン



メディキッズHP



青藍会公式サイト

詳しくはメディキッズHPをご確認ください！
書類のダウンロード等もできます